



「第5回日経ものづくり大賞」、 「平成20年度大気環境保全活動功労者表彰」を受賞

第5回日経ものづくり大賞 受賞

当社と新日本石油基地(株)は、「原油タンカー排出ガス処理設備」の実績に対し、日本経済新聞社から「第5回日経ものづくり大賞」を授与された。同賞は、日本経済活性化の原動力になる“ものづくり”を推進するため、国内外工場や研究所及びそこで採用するプログラムやシステムに対し、その功績を称えるもので、当社グループとして、一昨年の「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用 CDM プロジェクト」に続き、2回目の受賞となる。

今回受賞の対象となった「原油タンカー排出ガス処理設備」は、原油タンカーから排出されるガス中に含まれる VOC (揮発性有機化合物) や臭気成分を 99%以上削減するとともに、VOC の約 70%をエネルギー (原油換算年間1万 kl) として回収する設備である。従来技術と異なり、VOCを直接原油で吸収する世界初のプロセス技術で、当社グループが独自に開発し、新日本石油基地敷地内に商業設備を建設、2007年5月より稼動を開始している。将来的には、中東諸国など産油国での原油出荷基地において、環境対策とエネルギーの有効活用に寄与する技術になりえるものと考えている。



左から、【新日本石油基地】成尾工務グループマネージャー、淵脇社長
【新日本石油】西尾社長、安達技術部長、技術部製油技術グループ・杉本

平成20年度大気環境保全活動功労者表彰 受賞

新日本石油精製(株)と新日本石油基地(株)は、「平成20年度大気環境保全活動功労者表彰」を当社グループとして初めて受賞した。同賞は、環境省が主催する大気汚染防止推進月間行事の一環として、大気環境の確保に係る分野において貢献した個人や団体を表彰するもので、今回、2件同時の受賞となる。

新日本石油精製(株)大分製油所は、大分臨海工業地帯に位置し九州唯一の製油所として創業以来一貫して環境保全に努めてきたことや、液化天然ガススタンドの設置やベンゼン除去装置の早期導入等、環境保全に対する先取的な取組みが評価された。

また、新日本石油基地(株)喜入基地は、臭気問題の緩和と VOC (揮発性有機化合物) 削減および排出ガスをエネルギーとして有効利用することを目的として、日本で初めて原油タンカー排出ガス処理設備を建設・稼動し、環境対策への先駆性が評価された。



最上段左から3人目、新日本石油基地(株)淵脇社長、
4人目、新日本石油精製(株)甲斐大分製油所長



レコサール下水道製品および製造工場、 日本下水道協会の認定を所得

レコサール(※1)下水道用製品が、1/1付で(社)日本下水道協会(下水協)が定めるⅡ類資器材規格に登録された(材料認定)。また同日、当社の共同開発先である不二コンクリート工業(株)多久工場(佐賀県)に建設した成型品工場についても、下水協の定める製造工場として認定された(代表工場認定)。1/16には下水協にて認定証の交付が行なわれた(写真1)。

今回認定を受けた下水道用レコサール製品は下水管(商品名「レコサールVパイプ」)とマンホール(商品名:「レコサールVホール」)の2種類(写真2)。これまでは下水道製品としてレコサールを採用するには、発注者である公共団体が独自に製品審査を行う必要があったが、今回の認定取得により、審査の必要がなくなり、レコサール製品の公共採用の機会増大が期待できる。既に地元の佐賀県武雄市から受注も受け、本施工も行なわれた(写真3)。

今後は、本工場にて製造されたレコサール製品がレコサール工業会(表1)の会員会社を通じて全国へ販売される。
(研究開発企画部 レコサール事業化グループ 倉掛 稔)

※1 硫黄ポリマー(特許:4040000号)をバインダーにして、骨材(ケイ砂、碎石等)と高温下で混練し、冷却固化させたセメントコンクリート状の固化体。高強度、高耐酸性、リサイクル性、CO₂削減等が特徴



写真1 認定賞を手にする関係者
(前列左から、不二コンクリート工業(株)入江社長、
当社上原GM、後列左から、(有)アトラス山口社長、
当社倉掛、堀井、伊藤)



写真2 レコサールVパイプ/ホール製品群

表1 レコサール工業会会員

役職	資格	社名	所在地
会長	正会員	不二コンクリート工業株式会社	佐賀県武雄市
副会長	正会員	株式会社上田商会	登別市幌別町
理事	正会員	小倉セメント製品工業株式会社	北九州市小倉北区
理事	正会員	不二高圧コンクリート株式会社	熊本市野田
	賛助会員	エクセン株式会社	東京都港区
	賛助会員	トヨタ工機株式会社	東京都府中市
	賛助会員	長島鋳物株式会社	埼玉県北足立郡
	賛助会員	吾嬭ゴム工業株式会社	群馬県藤岡市
事務局	特別会員	有限会社アトラス	東京都大田区
	特別会員	株式会社アイザックリサーチ	東京都墨田区
監事	特別会員	新日本石油株式会社 研究開発本部研究開発企画部	東京都港区



写真3 レコサールVホール設置の様子
(佐賀県武雄市)



新日石－先端研の共同研究拠点 「ENEOSラボ」が開所

当社と東京大学先端科学技術研究センター（以下「先端研」）で準備を進めてきた新エネルギー共同研究拠点「ENEOSラボ」の体制が整い、2月5日、濱田東大理事・副学長（次期東大総長）、黒川政策研究大学院大学教授、安藤内閣府参事官を来賓に迎えて、開所式を行なった。

現在「ENEOSラボ」には、当社研究員3名が常駐し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの受託研究として「ポストシリコン高効率太陽電池」の開発を、先端研の複数研究室と行なっている。また、「革新的蓄電材料」の共同研究に取り組むことが決定している。

将来的には、常駐研究員を10名程度まで拡充する等、さらなる体制の強化拡大を図り、革新的な新エネルギー技術を開発することで、環境と経済が両立した低炭素社会の実現を目指していく。

（研究開発企画部 R&D企画グループ 井上 敏夫）

「ENEOSラボ」の概要

- (1) 所在地：東京大学駒場Ⅱキャンパス内 56号館 3～5階
- (2) 面積：約500平米

以上



ENEOSラボ開所式

左より：東大先端研・宮野所長、東大・濱田理事副学長、
新日本石油・松村副社長、政策研究大学院大学・黒川教授



国内最大級の環境展示会 「エコプロダクツ2008」に今年も出展参加

12月11日(木)～13日(土)に東京ビッグサイトで開催された題記展示会にブース出展し、合わせて「第4回女性が考えるエネルギーの未来シンポジウム」が開催された。

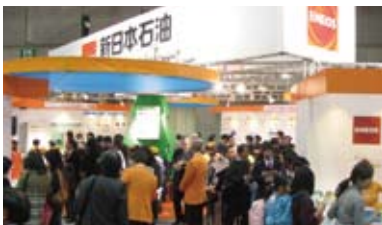
今年で10回目の本展示会は、企業、自治体、行政、NPO・NGO、大学・研究機関などが多数参加し、一般市民も多く来場する環境イベントで、当社は、1回目から継続参加している。今回は758の企業・団体が参加し(07年632社・団体、20%増)、総入場者数は173,917人(同164,903人、5%増)に達した。

当社ブースでは昨年を大幅に上回る2万2,300人(同1万8,500人、21%増)が来場し、子ども・学生(ブース来場者中の比率43%)、会社員(38%)、主婦(6%)など幅広い層に、当社グループが環境に取り組む姿勢を強くアピールし、アンケートによる当社展示の好感度は88%に達した。

シンポジウムのパネルディスカッションではエネルギーと生活のかかわりが議論され、パネリストとして参加した山口FC・ソーラー事業部長が、当社の家庭用燃料電池や太陽光発電システムなどの、家庭でエネルギーを創るシステムを紹介した。
(社会環境安全部 社会環境グループ 杉浦 出)

【当社の参加内容】

<p>1. ブース展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○展示 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池システム・エネファーム ・わが家で創エネプロジェクト概要 ・当社のさまざまな環境への取り組み(ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収有効利用 CDM、喜入基地のVOC吸収、太陽光エネルギーの船舶推進動力化の開発、バイオ燃料の取り組み、等) ・環境社会貢献活動(ENEOSの森、様々な自然保護活動、ENEOSわくわく環境教室、等) ○子ども向け体験メニュー <ul style="list-style-type: none"> 当社ブースを取材してオリジナルエコ新聞を作成する体験 ○エネゴリくんとENEOSマンによるステージパフォーマンス <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防ぐための日常のポイントを楽しく啓発するステージ
<p>2. 「第4回女性が考えるエネルギーの未来シンポジウム」(当社協賛) 「暮らしの中の新エネルギー～家庭でできる温暖化対策～」12月12日(金) パネリスト 山口益弘 FC・ソーラー事業部長 大橋マキ氏(アロマセラピスト) ももせいづみ氏(生活コラムニスト) 三輪田祐子氏(資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部政策課 課長補佐)</p>
<p>3. その他(エコカー試乗会への協力) 展示会場周辺で行われたエコカー試乗会への、中央技術研究所・燃料電池自動車「トヨタFCHV-adv」の貸し出し</p>



大勢の人でにぎわう当社ブース



当社ブースを視察する渡会長



CS放送・日テレNEWS24のVTR収録で、「今後の新エネルギー事業の展望」などについてブース内で語る西尾社長



シンポジウムのパネリストとして発言する山口FC・ソーラー事業部長



ステージパフォーマンス